

令和2年度 青臨技輸血・移植検査部門 輸血検査精度管理調査

今回の精度管理も昨年度同様、Google フォームを使用した回答形式をとらせて頂きます。

回答選択用紙は青臨技・技師会ホームページ <http://www.aoringi.org/> からダウンロードし、Google フォームからの回答をお願いいたします。

お困りの施設は 問い合わせ先

弘前大学医学部附属病院 輸血部 小山内 崇将

TEL:0172(39)5321

E-mail:taka-osa@hirosaki-u.ac.jp までご連絡ください。

1.【実施項目】

次のコースから選択してください。

輸血A : ABO・RhD 血液型検査、フォトサーベイ

輸血B : ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、フォトサーベイ

輸血C : ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定、フォトサーベイ

2.【試料一覧】

配布試料を確認してください。血球2本、血漿2本の計4本です。

試料1-C:赤血球:(ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

試料1-P:血 漿:(ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

試料2-C:赤血球:(ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

試料2-P:血 漿:(ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

3. 試料1-C、試料2-C の赤血球試料は、赤血球保存液に浮遊していて多少の溶血も見られますので、生理食塩液等で洗浄してから使用してください。また、血漿試料は3,000rpm、10分間遠心してから使用して下さい。

4. 検査手技、判定法は「輸血・移植検査技術教本」または「輸血のための検査マニュアル Ver.1.3」を準用してください。

5. 実施方法

① 青臨技ホームページにアクセスし、回答選択用紙をダウンロードしてください。

試料に対する検査を実施後、青臨技ホームページ輸血部門の Google フォームから回答してください。

② 検査方法、使用試薬等は日常使用しているものを選択してください。また、アンケートにもご協力ください。

③ 凝集反応の分類については以下のように統一してください。

4+ :1個の大きな凝集塊、背景は透明

3+ :強い凝集、数個の大きな凝集塊、背景は透明

2+ :多数の小さな塊の中に中程度の凝集塊、背景は透明

1+ :多数の小さな凝集塊、背景は赤く濁る

W+ :ごく小さな微細凝集、大部分は非凝集赤血球、背景は赤く濁る

0 :凝集が見られない

- ④ 検査担当者の輸血検査担当年数を選択する欄を設けてあります。不連続で担当されている場合は通算でお答えください。なお、輸血検査専任でない場合は、兼任の欄に記入してください。

6. 精度管理調査用の試料はHBs 抗原、HCV 抗体及び HIV 抗体陰性であることを確認しておりますが、感染の危険性のあるものとして、検体同様に十分に注意して取り扱ってください。

7. 輸血検査精度管理調査に関してのお問い合わせは下記にお願いします。

弘前大学医学部附属病院 輸血部 小山内 崇将

TEL:0172(39)5321

問合わせ先 E-mail taka-osa@hirosaki-u.ac.jp

【血液型検査】

1. ABO 血液型検査

試料1、試料2のABO血液型検査を実施して結果および判定をしてください。ウラ検査の反応強度は最終判定に用いたものを選択してください。追加試験(吸着解離試験等)は実施しなくて結構です。

2. RhD 血液型検査

試料1、試料2のRhD血液型検査を実施して結果および判定をしてください。

【不規則抗体検査】

1. 抗体スクリーニング

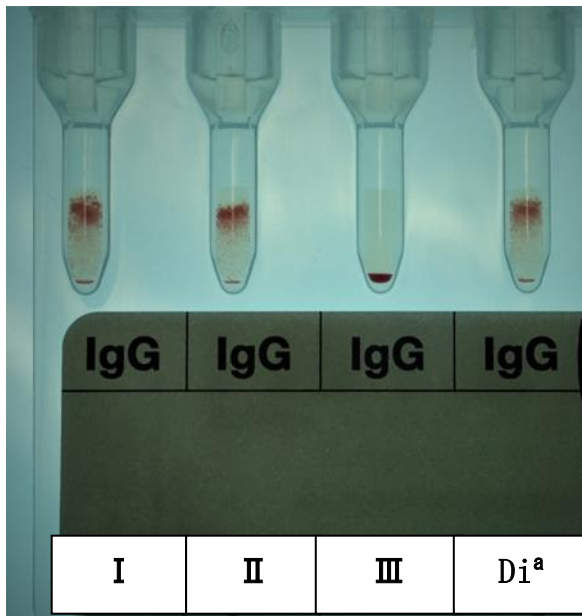
試料1、試料2の検体について不規則抗体スクリーニングを実施し、結果を判定してください。

2. 抗体同定

今年度はフォトサーベイ形式での実施となります。

次のカラム法の検査結果と抗原表から不規則抗体を同定し、同定された抗体名と準備すべき赤血球製剤について選択してください。なお、ABO・RhD血液型はO型RhD陽性とします。

- ABO・RhD血液型:O型RhD陽性
- 不規則抗体スクリーニング結果



	D	C	E	c	e	K	k	Fy ^a	Fy ^b	JK ^a	JK ^b	Le ^a	Le ^b	P1	M	N	S	s	Di ^a	IAT
I	+	+	0	0	+	0	+	+	+	+	0	+	0	+	0	+	0	+	0	
II	+	0	+	+	0	+	+	+	0	0	+	0	+	+	+	0	+	0	0	
III	0	0	0	+	+	0	+	0	+	+	+	+	0	+	+	+	0	+	0	
Di ^a	+	+	0	0	+	0	+	+	0	+	0	+	+	0	0	+	0	+	+	

【フォトサーベイ】

カラム法による検査結果の写真です。各カラムを観察して判定してください。

写真1

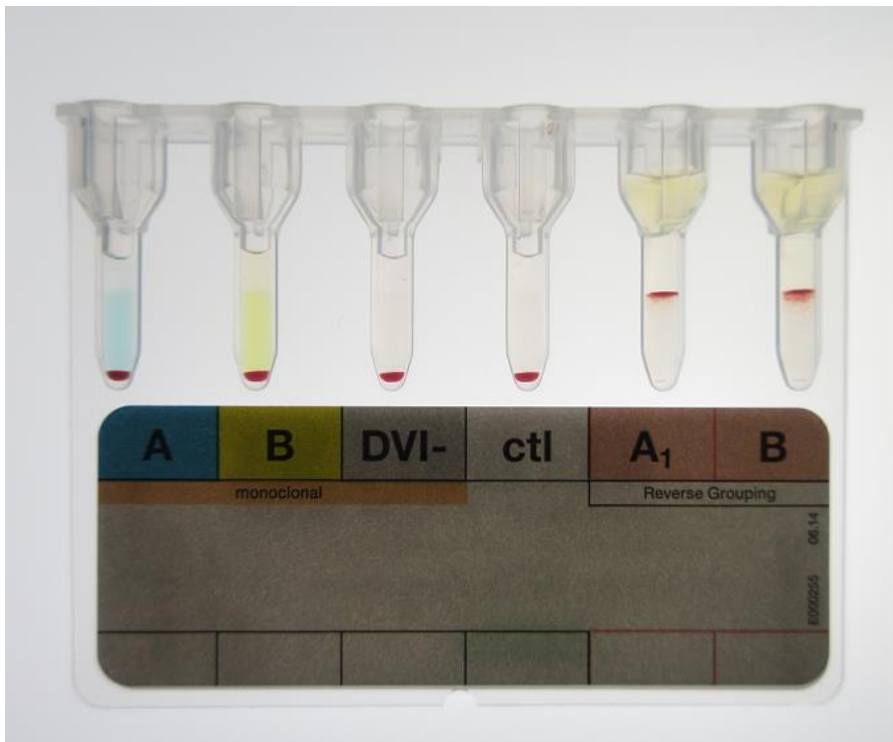
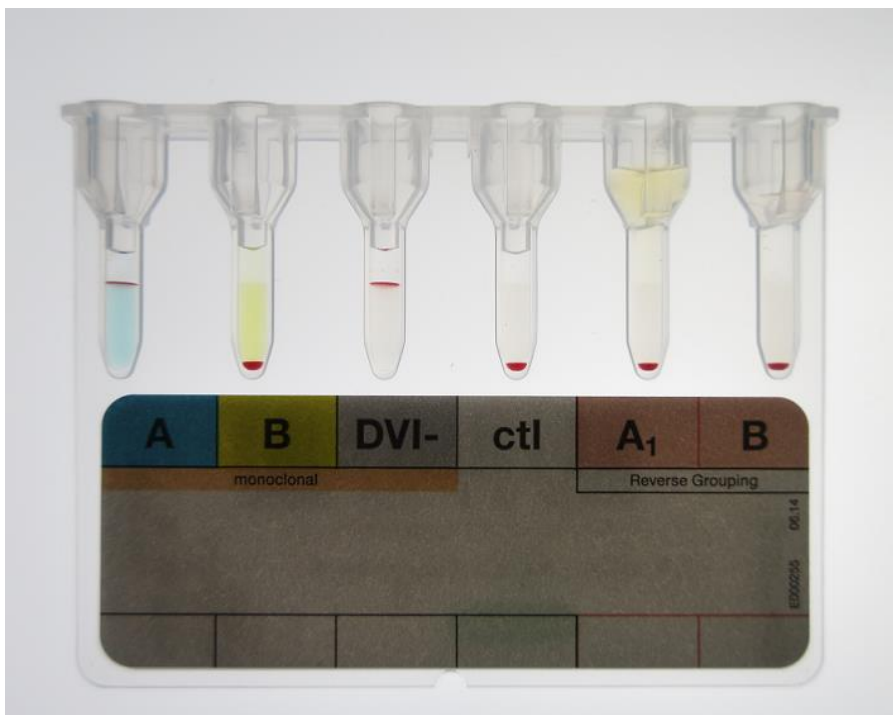


写真2



令和2年度青臨技輸血・移植検査部門 輸血検査精度管理調査

(回答選択用)

青臨技ホームページにアクセスし、Google フォームから回答してください。

Google フォームで結果を送信すると回答のコピーが指定したアドレスにメールに送信されます。
受信したメールの「回答を編集する」を押すと回答の編集が可能です。

Google フォームでは上付き、下付きの表示ができないため、こちらを参考に選択してください。

- Google フォームの URL
<https://forms.gle/gzFL6uZmFA7oryts5>
- Google フォームの QR コード



1. 概要と試料の取り扱い

連絡用メールアドレス、施設名、施設番号(日臨技で使用している7桁の番号)、電話番号、報告者名、実施日を入力してください。

- 検査は通常の業務で行っている方法で、試料受領後、試料の状態を必ず確認し速やかに行ってください。
- 検査担当者の輸血検査担当年数を選択する欄を設けてあります。不連続で担当されている場合は通算でお答えください。

【試料取扱注意事項】

- 精度管理調査用の試料はHBs 抗原、HCV 抗体及び HIV 抗体陰性であることを確認しておりますが、感染の危険性のあるものとして、検体同様に十分に注意して取り扱ってください。

アンケートにもご協力ください。

2. 参加コースと試料の概要

参加コースを選択してください。

【対象項目一覧】

輸血 A: ABO 血液型検査、RhD 血液型検査、フォトサーベイ

輸血 B: ABO 血液型検査、RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、フォトサーベイ

輸血 C: ABO 血液型検査、RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定
フォトサーベイ

【試料一覧】

試料1-C: 赤血球: (ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

試料1-P: 血 漿: (ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

試料2-C: 赤血球: (ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

試料2-P: 血 漿: (ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング)

3. ABO 血液型オモチ検査(輸血 A、B、C)

1. 試料1. オモチ検査

1) 抗 A 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

2) 抗 B 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

3) オモチ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB
[9]: 判定保留 [99]: 未実施

2. 試料2. オモチ検査

1) 抗 A 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

2) 抗 B 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

3) オモチ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB
[9]: 判定保留 [99]: 未実施

3. ABO 血液型オモチ検査方法

[1]: スライド法 [2]: 試験管法 [3]: ホールグラス法
[4]: ペーパー法 [5]: カラム凝集法 [6]: マイクロプレート法
[9]: その他 [99]: 未実施

4. 抗 A、抗 B 試薬

[1]: ヒト由来抗体 [2]: モノクローナル抗体 [3]: 動物免疫抗体
[9]: その他 [10]: 不明
[99]: 未実施

4. ABO 血液型ウラ検査(輸血 A、B、C)

※ウラ検査の反応強度は最終判定に用いたものを選択してください。

1. 試料1. ウラ検査

1)A₁赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

2)B赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

3)O赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

4)ウラ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB
[9]: 判定保留 [99]: 未実施

2. 試料2. ウラ検査

1)A₁赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

2)B赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

3)O赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

4)ウラ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB
[9]: 判定保留 [99]: 未実施

3. ABO 血液型ウラ検査方法

[1]: スライド法 [2]: 試験管法 [3]: ホールグラス法
[4]: ペーパー法 [5]: カラム凝集法 [6]: マイクロプレート法
[9]: その他 [99]: 未実施

5. ABO 血液型判定(輸血 A、B、C)

1. 試料1

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB
[5]: A 亜型 [6]: B 亜型 [7]: AB 亜型 [9]: 判定保留
[99]: 未実施

2. 試料2

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB
[5]: A 亜型 [6]: B 亜型 [7]: AB 亜型 [9]: 判定保留
[99]: 未実施

3. ABO 血液型検査者担当年数

[1]: 1年未満 [2]: 1～3年未満 [3]: 3年以上

4. ABO 血液型検査者兼任または専任

[1]: 兼任 [2]: 専任

6. RhD 血液型検査(輸血 A、B、C)

間接抗グロブリン試験(D 陰性確認試験)は必要があれば実施してください。

カラム凝集法のコントロールは、ABO,RhD 血液型検査両方のコントロールです。カラム法を利用している施設は、Rh コントロール反応の結果にコントロールの結果を選択してください。

1. 試料1

1)抗 D 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

2)Rh コントロール反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

3) 間接抗グロブリン試験(D 陰性確認試験) 抗 D 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

4)間接抗グロブリン試験(D 陰性確認試験) Rh コントロール反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

5)RhD 判定

[1]: D陽性 [2]: D陰性 [9]: 判定保留 [99]: 未実施

2. 試料2

1) 抗 D 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

2) Rh コントロール反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

3) 間接抗グロブリン試験(D 陰性確認試験) 抗 D 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

4) 間接抗グロブリン試験(D 陰性確認試験) Rh コントロール反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[99]: 未実施

5) RhD 判定

[1]: D陽性 [2]: D陰性 [9]: 判定保留 [99]: 未実施

3. RhD 血液型検査方法

[1]: スライド法 [2]: 試験管法 [3]: ホールグラス法
[4]: ペーパー法 [5]: カラム凝集法 [6]: マイクロプレート法
[9]: その他 [99]: 未実施

4. 抗 D 試薬

[1]: ポリクローナル抗体 [2]: モノクローナル抗体
[3]: ポリクローナル抗体とモノクローナル抗体のブレンド [9]: その他
[10]: 不明 [99]: 未実施

5. RhD 血液型検査者担当年数

[1]: 1年未満 [2]: 1～3年未満 [3]: 3年以上

6. RhD 血液型検査者兼任または専任

[1]: 兼任 [2]: 専任

※ Google フォーム回答時は、ここで再度輸血コースを選択してください。

輸血コース A の施設はコースを選択してから「10. フォトサーベイ」に進みます。

輸血コース B、C の施設はコース選択後「7. 不規則抗体スクリーニング」に進んでください。

7. 不規則抗体スクリーニング(輸血 B、C)

1. 試料1 判定

1)生理食塩液法

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

2)酵素法

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

3) 間接抗グロブリン試験

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

4)総合判定

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

2. 試料2 判定

1)生理食塩液法

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

2)酵素法

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

3) 間接抗グロブリン試験

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

4)総合判定

[1]: 陰性 [2]: 陽性 [99]: 未実施

3. 検査方法

[1]: 試験管法 [2]: カラム凝集法 [3]: 固相凝集法 [99]: 未実施

4. 生理食塩液法

[1]: 実施 [99]: 未実施

5. 酵素法

[1]: 実施 [99]: 未実施

6. 間接抗グロブリン試験

[1]: 実施 [99]: 未実施

7. 試薬

1) 酵素試薬

[1]: ブロメリン [2]: パパイン [3]: フィシン [9]: その他 [10]: 不明
[99]: 未実施

2) クームス血清

[1]: 多特異性 [2]: 抗 IgG [3]: 抗補体 [9]: その他 [10]: 不明
[99]: 未実施

3) 間接抗グロブリン試験の反応増強剤

[1]: ウシアルブミン [2]: 重合ウシアルブミン [3]: ポリエチレングリコール(PEG)
[4]: 低イオン強度溶液(LISS) [5]: 未使用 [9]: その他 [10]: 不明
[99]: 未実施

8. 不規則抗体スクリーニング検査者担当年数

[1]: 1年未満 [2]: 1～3年未満 [3]: 3年以上

9. 不規則抗体スクリーニング検査者兼任または専任

[1]: 兼任 [2]: 専任

※ **Google フォーム回答時は、ここで再度輸血コースを選択してください。**

輸血コース B の施設はコースを選択してから「10. フォトサーベイ」に進みます。

輸血コース C の施設はコース選択後「8. 不規則抗体同定」に進んでください。

8. 不規則抗体同定(輸血 C)

今年度はフォトサーベイ形式での実施となります。

カラム法の検査結果と抗原表から、消去法を実施し「可能性の高い抗体」と「否定できない抗体」を選択してください。

1. 可能性の高い抗体 (2桁ですので注意してください)

[1]: 抗 D [2]: 抗 C [3]: 抗 c [4]: 抗 E [5]: 抗 e [6]: 抗 K
[7]: 抗 k [8]: 抗 Fy^a [9]: 抗 Fy^b [10]: 抗 Jk^a [11]: 抗 Jk^b [12]: 抗 Le^a
[13]: 抗 Le^b [14]: 抗 P₁ [15]: 抗 M [16]: 抗 N [17]: 抗 S [18]: 抗 s
[19]: 抗 Xg^a [20]: 抗 Di^a [21]: 抗 Di^b [22]: 抗 Jr^a [23]: 抗 Bg^a [99]: 判定保留
[0]: 可能性の高い抗体ナシ

2. 否定できない抗体 (2桁ですので注意してください)

[1]: 抗 D [2]: 抗 C [3]: 抗 c [4]: 抗 E [5]: 抗 e [6]: 抗 K
[7]: 抗 k [8]: 抗 Fy^a [9]: 抗 Fy^b [10]: 抗 Jk^a [11]: 抗 Jk^b [12]: 抗 Le^a
[13]: 抗 Le^b [14]: 抗 P₁ [15]: 抗 M [16]: 抗 N [17]: 抗 S [18]: 抗 s
[19]: 抗 Xg^a [20]: 抗 Di^a [21]: 抗 Di^b [22]: 抗 Jr^a [23]: 抗 Bg^a [99]: 判定保留
[0]: 否定できない抗体ナシ

3. 不規則抗体同定検査者担当年数

[1]: 1年未満 [2]: 1~3年未満 [3]: 3年以上

4. 不規則抗体同定検査者兼任または専任

[1]: 兼任 [2]: 専任

9. 準備する赤血球製剤(輸血 C) **輸血Cコースで参加の施設のみ回答してください**

輸血を受ける際に用意すべき赤血球製剤の血液型を選択してください。

1. ABO 血液型

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB

2. RhD 血液型

[1]: D陽性 [2]: D陰性

3. その他の血液型

[1]: C 陰性 [2]: c 陰性 [3]: E 陰性 [4]: e 陰性 [5]: K 陰性
[6]: k 陰性 [7]: Fy^a 陰性 [8]: Fy^b 陰性 [9]: Jk^a 陰性 [10]: Jk^b 陰性
[11]: Le^a 陰性 [12]: Le^b 陰性 [13]: P₁ 陰性 [14]: M 陰性 [15]: N 陰性
[16]: S 陰性 [17]: s 陰性 [18]: Xg^a 陰性 [19]: Di^a 陰性 [20]: Di^b 陰性
[21]: Jr^a 陰性 [22]: Bg^a 陰性
[0]: 選択不要

10. フォトサーベイ(輸血 A、B、C)

カラム法による検査結果の写真です。各カラムを観察して結果を記入し、判定してください。

写真1

1. 抗 A 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf

2. 抗 B 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf

3. オモテ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB [9]: 判定保留

4. A₁ 赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[9]: 判定保留

5. B 赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[9]: 判定保留

6. ウラ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB [9]: 判定保留

7. 抗 D 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf [9]: 判定保留

8. コントロール反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf [9]: 判定保留

9. ABO 血液型判定

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB [9]: 判定保留

10. RhD 判定

[1]: D陽性 [2]: D陰性 [9]: 判定保留

写真 2

1. 抗 A 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf

2. 抗 B 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf

3. オモテ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB [9]: 判定保留

4. A₁ 赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[9]: 判定保留

5. B 赤血球反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[9]: 判定保留

6. ウラ検査結果

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB [9]: 判定保留

7. 抗 D 反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf [9]: 判定保留

8. コントロール反応

[1]: 1+ [2]: 2+ [3]: 3+ [4]: 4+ [5]: W+ [6]: 0
[7]: mf [9]: 判定保留

9. ABO 血液型判定

[1]: A [2]: O [3]: B [4]: AB [9]: 判定保留

10. RhD 判定

[1]: D陽性 [2]: D陰性 [9]: 判定保留

11.アンケート調査(輸血 A、B、C)

通常業務で行っている検査方法についてお伺いいたします。

ABO 血液型検査、RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定、交差適合検査の各検査方法について通常使用している方法を選択してください。ご協力をお願いいたします。

1. ABO 血液型検査

[1]: 実施 [99]: 未実施

2. 日勤帯で ABO 血液型検査の主な方法について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器
[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]: 未実施

3. 夜間・日直帯で ABO 血液型検査の主な方法について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器
[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]: 未実施

4. RhD 血液型検査

[1]: 実施 [99]: 未実施

5. 日勤帯で RhD 血液型検査の主な方法について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器
[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]: 未実施

6. 夜間・日直帯で RhD 血液型検査の主な方法について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器
[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]: 未実施

7. 不規則抗体スクリーニング

[1]: 実施 → 「実施」の施設は次の主な検査方法について進みます。
[99]: 未実施 → 「未実施」の施設は「11. 交差適合試験」に進みます。

8. 日勤帯で不規則抗体検査の主な方法について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器
[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]: 未実施

9. 夜間・日直帯で不規則抗体検査の主な方法について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器
[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]: 未実施

10. 不規則抗体同定

[1]: 実施 [99]: 未実施

11. 交差適合試験

[1]: 実施 → 「**実施**」の施設は次の主な検査方法について進みます。

[99]: 未実施 → 「**未実施**」の施設は「14. 血液型ウラ検査の判定基準について」に進みます。

12. 日勤帯で交差適合試験の**主な方法**について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器

[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]:未実施

13. 夜間・日直帯で交差適合試験の**主な方法**について教えてください。

[1]: 試験管法(用手法) [2]: 全自動機器 [3]: 半自動機器

[4]: カラム凝集法(用手法) [9]: その他 [99]:未実施

14. 血液型ウラ検査の判定基準についてお伺いします。

ABO 血液型検査でウラ検査反応が弱かった場合、再検査対象になる反応強度を教えてください。

[1]: W+以下 [2]: 1+以下 [3]: 2+以下 [4]: 3+以下

[9]: 再検査なし [99]:その他()

15. ABO 血液型;月平均検査件数

[1]:0~50 [2]:51~100 [3]:101~200 [4]:201~300

[5]:301~400 [6]:401~500 [7]:501~600 [8]:601~700

[9]:701~800 [10]:801以上 [99]:その他()

16. 不規則抗体スクリーニング;月平均検査件数

[1]:0~50 [2]:51~100 [3]:101~200 [4]:201~300

[5]:301~400 [6]:401~500 [7]:501~600 [8]:601~700

[9]:701~800 [10]:801以上

[11]:未実施 → 「19. 血液型二重チェックについて」のアンケートに進みます。

[99]:その他()

17. 輸血を全くしていない場合、不規則抗体検査結果の有効期間は何日間ですか。

[1]:2~6日間 [2]:7~10日間 [3]:11~20日間 [4]:21~30日間

[5]:31日間以上 [99]:その他(何日か記入してください)

18. 輸血をした場合、不規則抗体検査結果の有効期間は何日間ですか。

[1]:輸血日から2日間 [2]:輸血日から3日間 [3]:輸血日から4日間

[4]:輸血日から5日間 [5]:輸血日から7日間 [6]:検査日から2日間

[7]:検査日から3日間 [8]:検査日から4日間 [9]:検査日から5日間

[10]:検査日から7日間 [99]:その他(何日か記入してください)

昨年度に引き続き、各医療機関での血液型二重チェック実施体制について本アンケートにご回答頂き、皆様のご施設における実施体制の参考にして頂きたいと考えています。引き続きご回答への協力宜しくお願い致します。(また現在、青森臨床検査技師会の HP 上で輸血部門からのお知らせとして血液型確定についてのスライドやポスターを載せていますので、ご活用いただければ幸いです。)

※ 同一検体の二重チェックについて、全自動輸血検査装置を使用している施設は同一検体の二重チェックを実施していると回答してください。

赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン(改訂2版)より

3. 4. 2. 同一検体について異なる2人の検査者がそれぞれ独立に検査し、二重チェックを行い、照合確認するように努める。ただし、正しく管理された全自動輸血検査装置を使用する場合は、その結果を考慮してもよい。

19. **日勤帯**での血液型二重チェックについて教えてください。

- [1] :原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している。
- [2] :原則、同一患者の異なる時点での2検体では実施せず、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している。
- [3] :原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については実施していない。
- [4] :どちらも実施していない。

20. 設問19. で[1]、[2]回答した施設へ質問です。同一検体について異なる2人の検査者とはどなたですか？

- [1]:2名の検査技師 [2]:全自動輸血検査装置
- [3]:1名の検査技師+全自動輸血検査装置 [4]:その他 ()

21. 輸血実施体制について教えてください。

- [1]: 24時間体制(オンコール含む) [2]: 日勤帯のみ [3]: その他()

22. **夜間・休日帯**での血液型二重チェックについて教えてください。

- [1] :原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している。
- [2] :原則、同一患者の異なる時点での2検体では実施せず、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している。
- [3] :原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については実施していない。
- [4] :どちらも実施していない。

23. 設問22. で[1]、[2]回答した施設へ質問です。同一検体について異なる2人の検査者とはどなたですか？

- [1]:2名の検査技師 [2]:全自動輸血検査装置
- [3]:1名の検査技師+全自動輸血検査装置 [4]:その他 ()

24. 設問23. で[1]と回答した施設へ質問です。夜間・休日帯での報告はどのようにしていますか？
[1]:1名での検査結果を報告 [2]:夜間・休日は保留とする
[3]:その他 ()
25. 輸血療法が伴わない血液型検査の依頼があった場合、その検査結果が初回でも患者血液型として報告していますか？
[1]:はい [2]:いいえ
26. 異なる時点の採血であれば、血液型用採血でも交差試験用採血でも別採血と考えますか？
[1]:はい [2]:いいえ
27. 血液型検査結果はどの位前の結果まで、前回値として採用していますか？
[1]:1ヶ月 [2]:1年 [3]:5年 [4]:10年
[5]:検査履歴があれば採用 [99]:その他(何日か記入してください)
28. 血液型確定されている場合、交差適合試験用検体では「照合」目的での血液型検査は行っていますか？
[1]:はい(オモテ・ウラ検査両方) [2]:はい(オモテ検査のみ) [3]:いいえ
29. 血液型確定のための検査に、別採血であることが明らかな他の検体(生化学検査用や血算用など)での、代用は認めていますか？
[1]:はい [2]:いいえ
30. 血液型二重確認の実施体制を運営するには関係するすべての職種の協力が重要ですが、その中でも一番協力が必要な職種はどの職種と感じますか？
[1]:医師 [2]:看護師 [3]:臨床検査技師 [4]:その他()
31. 青臨技ホームページの『学術からのお知らせ』に血液型確定スライド資料、啓発用ポスターが掲載されていることを知っていますか？
[1]:はい [2]:いいえ
32. 血液型二重確認について、院内(医師、看護師など)にどのように周知していますか？
[1]:院内研修会 [2]:文書
[3]:特にしていない [4]:その他()
33. 血液型二重確認の実施体制を運営する上で、問題点や疑問がありましたらご自由にお書きください。無い場合は空欄で結構です。
34. この一年間に輸血検査に関することで困ったことはありますか。ご自由にお書き下さい。回答は次回以降の研修会テーマの参考にさせて頂きたいと思っております。無い場合は空欄で結構です。

35. 今回の精度管理につきまして、問題点、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。無い場合は空欄で結構です。

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先

今年度も昨年度同様、Google フォームからの回答となります。

青臨技ホームページにアクセスし、輸血・移植検査部門の Google フォームから回答してください。

回答の際に連絡可能なメールアドレスの入力をお願いします。結果を送信すると回答のコピーがメールで送信されます。受信したメールの「回答を編集する」を押すと回答の編集が可能です。

青臨技 輸血・移植検査部門 精度管理に関するお問い合わせは電話またはEメールでお願いします。その際、必ず施設名・連絡先をお伝えください。

問い合わせ先

弘前大学医学部附属病院 輸血部 小山内 崇将

TEL:0172(39)5321

E-mail:taka-osa@hirosaki-u.ac.jp

※お間違えのないようご注意ください。